

伊藤精密製作所の挑戦

他社に売りたいくないモノが
一番売れる!

～脱・顧客依存! 開発提案型企業への変身!～



株式会社伊藤精密製作所(以下、伊藤精密製作所)は、昭和34年に精密時計部品を扱う製造業として創業。以来、切削加工を事業の柱として、自動車や電子機器の部品加工を行う100%下請け企業であった。

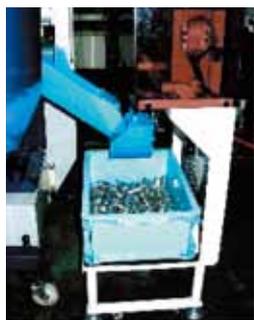
昭和52年、松下電器がビデオデッキの生産に本格参入すると同時に、部品の注文が急増した。当時の社長(創業者)は「生産の効率化のため24時間無人稼働が可能で、加工後の製品同士の接触によるダコンキズをなくせないか」と模索し、製品蓄積装置の開発に取りかかった。およそ2年をかけ試作品が完成。そこからは問題の発生と改良の繰り返しだった。開発から10年がたち、市場でこのような装置のニーズが高いことを知り、平成7年に「ダコンアンシン」として販売を開始した。実際に社内で使用しながら問題に直面するたびに改良を重ね製品の完成度を上げてきた。そして特

許も取得した。部品素材に、通常のナイロンよりも機械的強度・耐久性に優れるMCナイロンを取り入れるなど、常に「製品への優しさ」を追求し続け、売り上げは順調に伸びた。わかった事は、他社に売りたいくない(ほどの完成度の)モノが一番売れるということだ。

「ダコンアンシン」は、製品の特徴に合わせて、様々なラインナップから選ぶことができる。低床タイプの箱蓄積型は、製品をポケットで受け取り、製品箱へ手作業のようにそっと下ろす(写真①)。長時間の無人稼働を実現し、洗浄ケース付きもある。シュートタイプは、製品をバケットで受け取り、シュート上に積み重ねず並べていく(写真②)。また、取り付け機種を選ばず、狭いスペースにも設置ができ、キャスター付きなので移動が容易なところもうれしい。

伊藤精密製作所はこの成功を機に、自社開発に積極的に取り組み始める。

現在は「ダコンアンシン」開発時の経験をもとに「顧客が安心して使える商品づくり」「使用する立場になって考える」をモットーに日々開発に取り組んでいる。平成18年には、このような取り組みと事業の新規性、需要の拡大性が高く評価され、岐阜県より表彰を受けた。会長は、あらゆる委員会のメンバーになり、公的機関、民間、同業種、異業種の区別なく人脈作りにつとめている。これがアイデアの発生源となり、情報源ともなっている。今後は、これまで以上に客先のニーズに耳を傾け、顧客視点に立った製品開発を進めることにより現場の問題解決に貢献できる「開発提案型企業」へとさらなる成長を目指す。



箱蓄積型 (写真①)



シュートタイプ (写真②)



製品満杯検知で箱を自動交換する。

Company Profile

- 会社名: 株式会社 伊藤精密製作所
- 代表者: 代表取締役 伊藤康裕
- 所在地: 岐阜県海津市平田町今尾1663-1
- TEL: 0584-66-2633 / FAX: 0584-66-2757
- E-mail: info-is@smiling.co.jp
- 設立: 昭和34年
- 資本金: 1,600万円
- 従業員: 100名
- 業務内容: 各種コネクタ、通信、自動車、空調、ガス、水栓他機器の部品加工・組立及び製品蓄積装置等のFA装置の設計・製造